

洲本市公共施設等個別施設計画における保育施設の対策内容について

1. 洲本市公共施設等個別施設計画について

1 背景
(1) 人口減少にともなう税収減と少子高齢化を背景とする人口構造の急激な変化が、行政サービスの質・量のあり方に大きく影響
(2) 老朽化が進む公共施設及びインフラ資産の全体の状況を把握し、長期的な視点をもって、統廃合・転用、長寿命化、更新などを計画的に行うことにより、財政負担の軽減・平準化を図るとともに、公共施設等の最適な配置を実現
2 目的
安全・安心で快適な施設等の配置及び持続可能なまちづくり
3 位置づけ
公共施設等総合管理計画に基づき、具体的な対策内容を定める実施計画
4 対象施設
公共施設及びインフラ資産
5 計画期間
令和3年度から令和12年度までの10年間

(1) 保育施設の状況

R3. 4. 1

施設名	認可定員	利用定員	園児数	棟数	延床面積	建築年
なのはなこども園	180	175	153	2	1,544.83 m ²	H31
中川原保育所	70	70	74	1	402.43 m ²	H14
安乎保育所	80	80	52	1	465.04 m ²	H21
由良保育所	90	74	50	1	700.40 m ²	S58
都志保育園	70	62	43	1	618.35 m ²	S50
鮎原保育園	110	96	59	1	1,240.24 m ²	H7
広石保育園	90	69	41	1	610.89 m ²	H13
鳥飼保育園	60	59	37	2	626.17 m ²	S56、H18
堺保育園	45	45	37	1	388.60 m ²	S53
計	795	730	546	11	6,596.95 m ²	

(2) 保育施設の対策内容と実施時期

施設名	対策内容	実施時期
なのはなこども園	適切に維持管理・修繕を行う。	
中川原保育所	児童数の推移等により、集約化や民営化を進める。	R10
安乎保育所		
由良保育所	大規模改修を実施し、継続して運営。	
都志保育園	五色地域の5園については、各園の園児数の減少に応じて縦割り保育や小規模保育への移行を進めつつ、保育の質を確保するため、計画期間中に園児数を充足する認定こども園に集約化する。	
鮎原保育園		
広石保育園		
鳥飼保育園		
堺保育園		

2. 五色地域における認定こども園の整備について

五色地域の5園については、各園の園児数は減少しており、また、経年劣化による老朽化が著しい施設もあり、今後も維持し続けるとなると大規模改修に対応するための費用が発生し、財政負担の増大が懸念されます。

五色地域において新たな認定こども園の整備することにより、効果的かつ効率的な施設の管理・運営や職員配置を改善することができ、幼児教育の充実と保護者の多様な保育ニーズに応じたサービスを提供します。

なお、認定こども園の位置、規模や定員、また、運営形態については、民間活力の導入など、今後検討していくことになります。

(1) 五色地域における保育園の状況

●園児数の推移

R3. 4. 1

施設名	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3
都志保育園	50	47	41	37	41	43	43
鮎原保育園	98	91	81	72	77	66	59
広石保育園	65	66	54	45	42	38	41
鳥飼保育園	56	54	50	45	41	46	37
堺保育園	37	39	44	42	46	42	37
計	306	297	270	241	247	235	217

●年齢別園児数

R3. 4. 1

施設名	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
都志保育園	0	4	5	10	8	16	43
鮎原保育園	0	9	6	16	14	14	59
広石保育園	0	4	3	14	10	10	41
鳥飼保育園	2	1	9	4	14	7	37
堺保育園	0	3	3	9	10	12	37
計	2	21	26	53	56	59	217

●保育士の人数

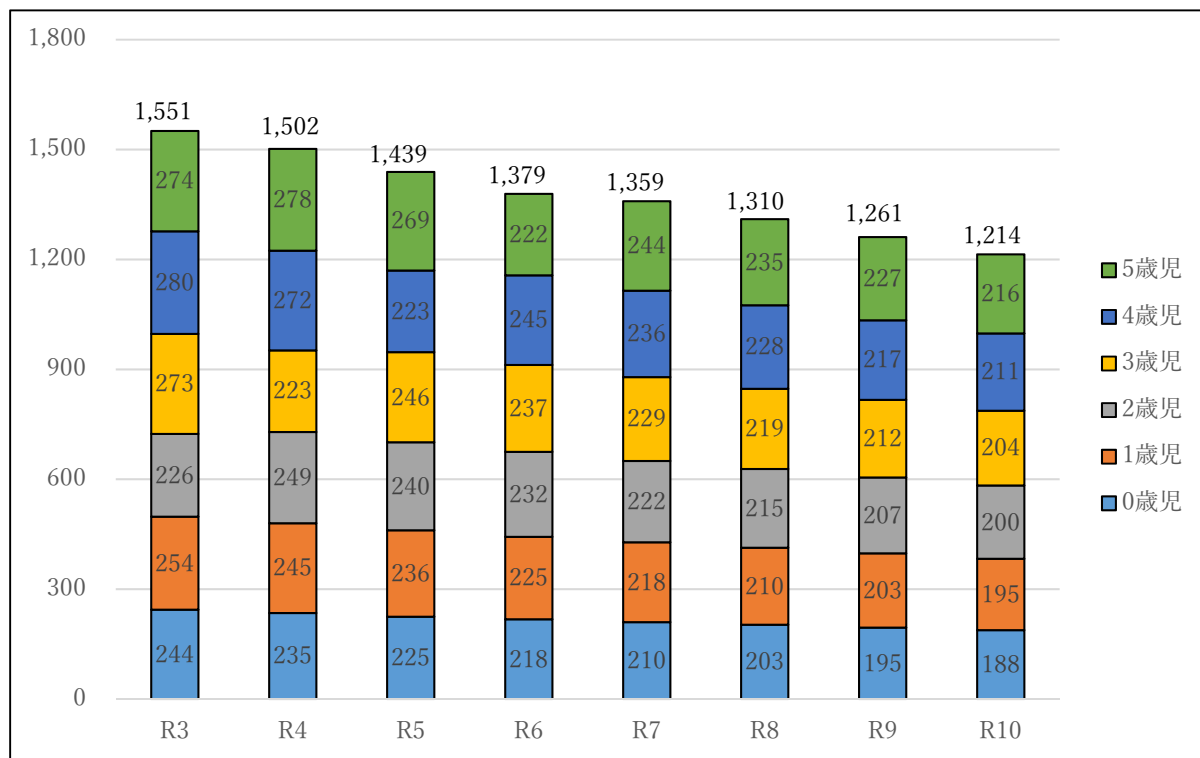
R3. 4. 1

施設名	正規職員		会計年度任用職員		計
	園長	保育士	フルタイム	短時間	
都志保育園	1	3	2	0	6
鮎原保育園	1	3	3	4	11
広石保育園	1	2	3	4	10
鳥飼保育園	1	2	3	5	11
堺保育園	1	2	3	1	7
計	5	12	14	14	45

※産休・育休の人数を除く。

(2) 未就学児（0～5歳）の推移

● 洲本市全体（年齢別）



● 洲本市全体（地域別）

